

授業科目	北海道の生活と健康	1 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	澤田いずみ (保健医療学研究棟 E207 号) e-mail : izumi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	中村裕二、田代英之、青木亜砂子、深川周平、(森山知洋)、(原文宏)、(山崎幸治)、(木村眞司)		
概要	北海道民の保健医療ニーズに応えるためには、北海道特有の社会的状況や環境の健康に及ぼす影響を考慮する必要がある。本講義では、道民の保健・医療、そして生活と相互作用の関係をもつ北海道の歴史と特有の環境(地域の自然、地形、気候、産業、人口、交通)について学習し、多様な観点から北海道における健康・疾病ならびに保健・医療について考える機会とする。		
到達目標	1. 北海道の生活を理解する多様な視点を説明できる。 2. 北海道の歴史、自然と環境の概要を説明できる 3. 北海道の生活と健康のつながりを説明できる 4. 北海道の生活を踏まえた医療保健福祉政策を概説できる		
関連科目	地域看護学概論、地域・環境理学療法学、地域作業療法学、地域作業療法学演習		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	50%	提出物は、毎講義ごとのリフレクションカードです。
	提出物	30%	
	報告会内容	20%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各専門分野の非常勤講師によるトピックス・バラエティに富んだ構成です。事前に講義に関連する情報をインターネットや本などで収集し、自己の関心事を明確にして参加してください。 フォトボイスという手法を用いて学びの共有を行います。フォトボイスとは、地域に暮らす人々が、健康にかかわる様々な角度から地域の暮らしを見つめ、写真(フォト)に収め、写真が意味していることを言葉で説明する(ボイス) ことにより、示された課題をみんなで討議して、強みの発見や問題提起をしていく手法です。 各講義を聞きながら、北海道の生活と健康のつながりを考える視点を磨き、フォトボイス作成に生かしてください。 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション フォトボイスについてガイダンス 北海道の健康課題	事前：北海道の暮らしの特徴を考える 事後：関心事をまとめる	講義 演習	澤田・深川・田代・中村
2	北海道の気象 北海道の気象プラスー天気と健康を考えるー	事前：北海道の気象について情報収集 事後：学びのまとめ	講義	(森山)
3	北海道の交通と産業 北海道の交通と地域づくり	事前：北海道の交通について情報収集 事後：学びのまとめ	〃	(原)
4	北海道の文化・芸術 モノからみたアイヌ文化	事前：アイヌの文化について情報収集 事後：学びのまとめ	〃	(山崎)
5	北海道の文化・芸術 北海道の医療の歴史	事前：札幌大の歴史について情報収集 事後：学びのまとめ	〃	(木村)
6	北海道の暮らしと健康 都市部の暮らしと健康	事前：札幌市保健福祉部の HP 閲覧 事後：学びのまとめ	〃	深川
7	北海道の暮らしと健康 町村部の暮らしと健康	事前：北海道保健福祉部の HP 閲覧 事後：学びのまとめ	〃	青木

8	フォトボイス報告会	事前：フォトボイスの作成 事後：レポート作成準備	演習	澤田・中 村・田代・ 深川
---	-----------	-----------------------------	----	---------------------